

コード	205030501
記入日	H24.6.8

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	宇戸 佐一郎

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	防火水槽新設事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3
事務事業コード	2050305	事務事業名称	石油立地交付金事業費（消防施設）	細目コード	1041
関連計画		法令・条例規則等	石油貯蔵施設立地対策等交付金交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 防火水槽 (対象2)		(対象指標1) 1基 (対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・防火水槽1基新設 →上五島三日ノ浦地区 (有蓋I型100t級)		***** 設置基数	***** 1基	***** 100%	設置箇所÷ 設置予定箇所	***** 平成23年度
				① (達成率分析)	計画どおり1基設置した。			
				② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・火災発生時における水利の確保のため、防火水槽を設置する。				***** 正常に利用できた日	***** 53日	***** 100%	利用できた日数÷ 利用可能日数	***** 平成23年度
				① (達成率分析)	設置したことにより、水利の確保ができた。			
				② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 箇所	5	5	4	1	1					
	②										
成果指標	① 日	303	303	250	53	53					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	33,431	33,431	26,200	7,231	7,231					
直接事業費 A	千円	31,331	31,331	24,800	6,531	6,531					
人件費 B	千円	2,100	2,100	1,400	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.3	0.3	0.2	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	14,588	14,588	8,088	6,500	6,500				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	18,843	18,843	18,112	731	731					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	火災発生時における町民の生命・身体及び財産を守ることは、町の責務である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	設置することにより、火災発生時の水利としての機能を発揮できる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	ある ● ない	理 由	適正に設置されている。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	水利が無ければ火災発生時の消火活動に支障をきたすため、本事業を実施することにより活動結果は得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理 由	必要最低限の事業費のため、代えられない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	本事業は必要であり、改善策は特に見当たらない。
	今後、課題に向けた改善策	年次計画により事業を実施していく。

2 次 評 価	防火水槽は、消防水利の重要な施設であり、その設置にあたっては処理能力や設置場所など関係団体との協議により効率的な設置となるように計画的に行っていくこと。
----------------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の 対応	

今後の事業 の方向性	●	●	□	このまま事業を継続	□	□	□	類似事業と整理統合		
	□	□	□		□	□	□		□	□
	□	□	□		□	□	□		□	□
	□	□	□		□	□	□		□	□

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。